

職業興味と欲求*

玉瀬 耕治**

(心理学教室)

職業決定に影響する重要な要因として、職業観と職業興味を取り上げることができよう。職業観は主として決定に至る認知的側面を形成し、職業興味は動機づける、または情意的側面を形成すると考えられる。筆者らはこれまでに、職業観と職業興味に関する地域差を検討し、大都市とへき地の間においても地域差はほとんど見られないことを実証した(磯野・玉瀬, 1973a)。さらに、職業観と欲求との関係を調べ、両者がほとんど独立のものであることを見出した(磯野・玉瀬, 1973b)。本研究では職業興味と欲求との関係を検討する。職業興味は、いわば欲求の現われであると考えられるので、両者の間にはより密接な関係があることが予想される。しかし、職業興味がどのような欲求と関係があるかについては、これまでのところ実証的な資料があまり示されていない。

職業興味検査については、わが国でもすでにいくつかのものが作成されているが(児玉, 1967)、主なものはKuder式(田研式職業興味検査、藤原喜悦職業興味検査)とStrong式(児玉ストロング職業興味検査)に区別される。児玉ストロング職業興味検査(児玉, 1961)は最も組織的な研究によって作成されたものであるが、採点が極めて複雑であるので実際にはあまり使用されていない。本研究では、職業相談活動(藤本幸次郎他, 1971)などで広く活用されている田研式職業興味検査(田中教育研究所職業適性研究部, 1954)を使用する。この検査については、Y-G性格検査との関係(辻岡, 1965)や職業レディネステストとの関係(渡辺, 1974)が明らかにされている。

欲求検査については、最近EPPS(Edwards Personal Preference Schedule)の日本版(肥田野ほか, 1970)が作成され、欲求に基づく性格特性の多面的測定が可能になった。この検査は、職業観や職業興味との関係が明らかにされれば、職業相談においても広く活用しうるものである。そこで本研究ではこの検査を用いることにした。

方 法

被験者 奈良保育学院の女子学生68名を被験者にして、昭和49年6月に2種類の検査を実施した。

材 料 (1)田研式職業興味検査 この検査は3つ1組の活動の中から、最も好きなものと最も嫌いなものを選ぶようになった100組の問題から成っており、次の10分野の興味を測定することができる。戸外(農夫、きこり、船員、探検家、漁夫など)、機械(技術者、航空士、機械操作員など)、計算

* Relationship of Vocational Interests and Needs.

** Koji Tamase (Department of Psychology, Nara University of Education, Nara)

(帳簿係、会計係、銀行員など)、科学(科学者、医師、研究所助手、化学、電気技師など)、説得(政治家、セールスマン、広告業者、アナウンサーなど)、美術(画家、彫刻家、美容師、デザイナーなど)、文芸(著述家、ジャーナリスト、俳優など)、音楽(演奏家、作曲家、舞踏家、合唱団員など)、奉仕(社会福祉家、民生委員、教師、看護婦など)、書記(事務員、秘書、タイピスト、電話交換手など)。

(2)EPPS性格検査 この検査は次に示す欲求に基づく15の性格特性を、それぞれ9項目ずつの陳述で測定するものである。実際には、社会的望ましさがほぼ等しい項目を2つずつ対にして(全部で225対)、そのうちどちらか1つを選ばせて測定する。達成(有意義なことやむづかしい仕事をうまく成しとげたい)、追従(尊敬する人に指示されたい、従いたい)、秩序(仕事や生活を、計画を立ててきちんと実行したい。身のまわりをきちんと整理したい)、顕示(人の注目を集めるようなことを話したり、したりしたい)、自律(他人にこだわらず、自分の思いどおりに自由にやりたい)、親和(友だちをたくさんつくり、友達と仲よくしたい)、他者認知(自分や他人の感情や、行動の動機を調べたり、分析したりしたい)、求護(友達からはげましてもらいたい、親切にしてもらいたい、同情されたい)、支配(集団や会のリーダーになり、人に指図したり、監督したり、自分の思いどおりにやらせたい)、内罰(都合の悪いことは自分のせいになりたい、自分の考えをおし通すよりは、相手にゆずりたい)、養護(友達のためにつくしたい、助けてあげたい、人に親切にしたい)、変化(新しい店や食堂に入ったり、新しい仕事をしたり、変わったことや流行を取り入れたい)、持久(やり始めた仕事は最後までやり通したい)、異性愛(性について知りたい、異性から魅力があると思われたい、異性と一緒にいたい)、攻撃(反対の意見を批判したり攻撃したい、腹が立った時は、物を投げこわしたりしたい)。

結 果

職業興味検査とEPPSの相関 表1は職業興味検査の10分野とEPPSの15の欲求とのピアソン相関係数を示したものである。この表において、 r の値が.239以上であれば5%水準、.310以上であれば1%水準の有意性があるとみなされる(ただし、 $df = 66$ 、両側検定)。1%水準で有意な値はゴチック体で示されている。表2は相関係数が5%水準又は1%水準で有意であったものについてまとめたものである。この表にみられる特徴は、戸外から科学までの興味と、説得から書記までの興味に対する相関がほぼ逆転していることである。

職業興味検査の内部相関 表3は職業興味検査における各興味分野の間でのピアソン相関係数を示したものである。1%水準で有意な値(.310以上)はゴチック体で示されている。この表にみられる特徴は、戸外から科学までの内部相関と、説得から書記までの内部相関がそれぞれ正の値をとり、それら2つの群の間では負の値をとっているものが多いことである。

表1 田研式職業興味検査とEPPS性格検査との相関（ $n = 68$, 女子）

興味	EPPS	達成	追従	秩序	顯示	自律	親和	他者 認知	求護	支配	内罰	養護	変化	持久	異性愛	攻撃
戸外		-.107	-.097	.183	-.174	.222	-.100	-.073	-.154	-.126	.124	-.012	.066	.245	-.032	.092
機械		.212	-.079	.408	-.394	.431	-.336	-.175	-.289	-.270	-.109	-.037	.180	.359	.170	.025
計算		.299	-.455	.625	-.425	.034	-.228	-.123	-.295	-.023	-.256	-.052	-.157	.321	.141	.144
科学		.648	-.182	.300	.048	.061	-.429	-.059	-.355	-.159	-.222	-.030	.147	.494	-.289	.324
説得		-.254	.175	-.345	.105	-.423	.310	-.002	.376	.252	.030	.018	-.074	-.405	.069	-.063
美術		-.046	-.101	-.093	.197	.119	.122	.053	.085	-.169	-.101	-.011	.229	-.181	-.093	.032
文芸		.134	-.278	-.179	.006	.157	.102	.117	-.020	-.016	-.139	.033	-.106	-.020	-.251	-.086
音楽		-.197	.022	-.478	.159	-.134	.233	.123	-.365	.183	-.184	.024	.042	-.259	.059	-.142
奉仕		-.238	.093	-.256	-.160	-.499	-.247	-.018	.254	.224	.149	.047	-.387	-.212	-.078	.075
書記		.101	.247	.069	.139	-.233	-.050	.006	-.014	.173	.012	.003	.162	-.124	.044	-.058

表2 相関係数の有意性

興味	EPPS	達成	追従	秩序	顯示	自律	親和	他者 認知	求護	支配	内罰	養護	変化	持久	異性愛	攻撃	
戸外																+	
機械				++	--	++	--		-	-						++	
計算		+	--	++	--				-		-					++	
科学		++		+			--		--						++	-	++
説得		-		--		--	++		++	+					--		
美術																	
文芸			-													-	
音楽				--					--							-	
奉仕				-		--	-		+					--			
書記			+														

+は正、-は負の相関を示し、記号1つは5%水準、記号2つは1%水準で有意であることを示す。

表3 田研式職業興味検査の内部相関

	戸外	機械	計算	科学	説得	美術	文芸	音楽	奉仕	書記
戸外		.291	-.358	.530	-.529	-.100	.041	-.324	-.092	-.751
機械			.269	.698	-.597	-.173	-.259	-.462	-.565	-.315
計算				.165	-.191	.017	-.265	.061	-.311	.091
科学					-.789	-.155	-.167	-.342	-.405	-.563
説得						-.074	-.043	.355	.491	.456
美術							.027	.003	-.378	.030
文芸								-.096	.036	-.050
音楽									.165	.118
奉仕										.046
書記										

考 察

本研究では、戸外、機械、計算、および科学への興味は、達成、秩序、自律、持久、攻撃などの欲求と正の相関が見られた。これらの欲求は、いずれも課題遂行に関係し、対人関係の要因をあまり含まないものとみなすことができる。一方、説得、音楽、奉仕および書記への興味は、上述の欲求とは大体負の相関を示し、追従、親和、求護、支配などの欲求と正の相関を示している。これらの欲求は、いずれも課題遂行とは直接関係のない対人関係の要因に関する欲求である。表3から明らかなように、戸外、機械、計算および科学の内部相関は高く、また、説得と音楽、奉仕、および書記との相関も高い。従って、これらは課題遂行への指向性と対人関係への指向性において互いに異なる2つの興味群であると考えられる。

本研究の結果は、Roe (1957)の職業選択理論における対人関係指向的職業群と非対人関係指向的職業群にほぼ一致している。彼女は幼児期における家庭の雰囲気（暖かさ）によって、成人した後の職業への指向性が異なると主張している。すなわち、暖かい雰囲気（暖かい）で育った人は対人関係指向的な職業を選び、冷たい雰囲気（冷たい）で育った人は非対人関係指向的な職業を選ぶ傾向があると考えた。この理論の妥当性については十分検証されていないが、職業興味の個人差を説明するものとして興味深い。

要 約

女子学生68名に田研式職業興味検査とEPPS性格検査を実施して、職業興味と欲求との相関関係を検討した。その結果、戸外、機械、計算および科学への興味は、達成、秩序、自律、持久、攻撃などの課題遂行的、非対人指向的欲求と正の相関がみられ、説得、音楽、奉仕および書記への興味は、追従、親和、求護、支配などの非課題遂行的、対人指向的欲求と正の相関がみられた。

引用文献

- 藤本幸次郎他 1971 職業相談事例集(第3集) 大阪府立職業サービスセンター
- 肥田野直他 1970 EPPS性格検査手引 大学・一般用 東京:日本文化科学社
- 磯野義一・玉瀬耕治 1973a へき地における中学生の職業興味と職業観 奈良教育大学教育研究所紀要, 9, 99-104.
- 磯野義一・玉瀬耕治 1973b 職業観診断テストとEPPSの関係 進路指導 47, 10, 44-47.
- 児玉省 1961 児玉ストロング職業興味検査法—日本人の職業興味 東京:日本文化科学社
- 児玉省 1967 興味の評価 伊藤祐時他(編)最新進路指導事典 東京:第1法規, 43-51.
- Roe, A. 1957 Early determinants of vocational choice. *J. counsel. Psychol.*, 4, 212-217.
- 田中教育研究所職業適性研究部 1954 田研式職業興味検査の手引 東京:日本文化科学社
- 辻岡美延 1965 新性格検査法 東京:竹井機器工業株式会社
- 渡辺三枝子 1974 VRテストと職業興味 職業研究所研究紀要 7, 49-52.

